

新聞を読む理由

郡山市 亀山 ひかりさん
 大島小6年

私は両親に「なぜ新聞を読みなさいって言うの？」と聞いたことがありますが。お母さんは「受験勉強になるから」と言いました。お父さんは「うーん」と考えこんでしまいました。

小さいころ新聞は知らない言葉や読めない漢字がたくさん書いてある読みづらいものだと思っていました。しかし新聞はだれでも興味をもって読むことができるように工夫されたものと「最近気付きました。」

書かれていることです。興味がある記事をすぐに見つけて読むことができ工夫です。

他にも小さい子でも楽しめるようにクイズや四コママンガ、ジュニア新聞などもあります。幅広い世代の人のことを考えて新聞は作られているのだなと感心しました。

お父さんは私の質問の答えを「知りたいこと、興味のあることが書いてあっておもしろいから、ひかりにも新聞を読んでもほしい」と言いました。

私の将来の夢はスポーツジャーナリストです。スポーツジャーナリストは取材したことや調べたことを記事にして新聞や雑誌に載せてもらったり本にしたりします。いろいろな年代の人、スポーツに興味のない人にも私が書いた記事を読んでもらいたいので、新聞のように読みやすく人々の興味を引くような文章が書けるように勉強したいと思います。

から新聞が身近にある。社会情勢に興味のない子供もテレビ番組を知りたくて一日一回は新聞を手に入れた。しかし私達の子供世代はデジタル機器から簡単に情報を手に入れる。情報を入力する手段として様々な選択肢があり、新聞から離れている現実がある。

改めて新聞を見てみるといろいろな工夫がされていることに気付く。見やすくするためにカラーになっていたり、目を引く写真を載せていたり、縦横に大きな見出しを作ったりと。

特に最近力を入れていられるのが子供達に興味を持ってもらおうと工夫されていることに気付く。例えば「今日新聞に載っていた国旗は何だったかな」というように。

新聞とのつながり方

父 亀山 稔さん

いろいろな場面で「新聞を読みなさい」という言葉を耳にする。私も子供達に「新聞を読みなさい」と口にしてきたが、

ある時子供から「新聞を何のために読んでいますか？」と問われることがあった。よく考えてみると「難しい質問である。確かに大人として一般常識を知っていなければならぬ」と考え新聞を見ているが、その他にも知りたいと思う社会情勢やスポーツ情報、毎日連載されている小説など、いろいろな「知りたい」という興味がある。新聞を読もうとさせると「興味ない」という興味がない子供達もいる。

私達世代は生まれた時から新聞が身近にある。社会情勢に興味のない子供もテレビ番組を知りたくて一日一回は新聞を手に入れた。しかし私達の子供世代はデジタル機器から簡単に情報を手に入れる。情報を入力する手段として様々な選択肢があり、新聞から離れている現実がある。

改めて新聞を見てみるといろいろな工夫がされていることに気付く。見やすくするためにカラーになっていたり、目を引く写真を載せていたり、縦横に大きな見出しを作ったりと。

特に最近力を入れていられるのが子供達に興味を持ってもらおうと工夫されていることに気付く。例えば「今日新聞に載っていた国旗は何だったかな」というように。

このように考えると、ただ「新聞を読みなさい」と言っても読むはずがない。いかに子供自身が新聞に興味を持てるかがカギとなる。私も子供からの問いをきっかけに、ただ「読みなさい」と言うのではなく、いかに新聞に興味を持ってもらえるかを考え、言葉を選ぶようになった。例えば「今日新聞に載っていた国旗は何だったかな」というように。

